

兵庫県細胞検査士会メールジャーナル

2024年
5月号

【目次】

1. お知らせ
2. 地区委員のコラム（岡田）
3. せるツイート
4. 編集後記（ジャーナル担当）



1. お知らせ

- 1) 細胞診断能力開発プロジェクトについて
- 2) 令和6・7年度 兵庫県細胞検査士会 会長のご挨拶
- 3) 令和6・7年度 兵庫県細胞検査士会 役員(幹事)の紹介ならびにご挨拶

1) 第2回 細胞診断能力開発プロジェクト(プロジェクトABCD)について: 兵庫県細胞検査士会 会長 鳥居良貴

いつも兵庫県細胞検査士会の活動にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。
兵庫県細胞検査士会メールジャーナルにもご案内しております「ABCDプロジェクト」。
このプロジェクトはセルフスタディとして、Self-Study Survey(自己学習のための細胞テスト)を目的に
教育的視野から自己学習を行う形式として実施しております。
もちろん外部精度管理ではなく、また強制でもなく自由参加な自己学習テストです。
「第2回ABCDプロジェクト」を届けさせていただきます。
既に兵庫県細胞検査士会ホームページ(<http://hyogoct.com>)のトップページにあります「症例検討」に
公開しております。
症例検討 → パスワード入力くださいとありますから、半角にて下記入力ください。

8AQ4hd63eF

第1回と同様に、実際に試行していただき、ご意見ご感想がございましたら本メーリングリストに
お寄せください。よろしくお願いいたします。

2) 令和6・7年度 兵庫県細胞検査士会 会長のご挨拶

令和6年(2024年)5月吉日
兵庫県細胞検査士会 会長 鳥居良貴

平素より兵庫県細胞検査士会の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和2年度(2020年度)より総会にて役員(幹事)として承認され、また会長を拝命しております。

2024年・2025年度も務めさせていただくこととなり、3期目になります。

これは異例のことであると考えております。本来なら二期で任期を終え、次に引継いでいくこと、すなわち新陳代謝がなければなりません。

それは生物学的に、種を存続するためには個体の入れ替わりが必須であり、個体の存続にとっても細胞の入れ替わりが重要であるのと同様に、会を存続するためには、組織の中で適切な入れ替わりが必要であるということになります。

細胞が入れ替わらず定着すればするほど、ヒトは老化していくように、人が定着し過ぎればしすぎるほど会社や組織は老化していきます。「アポトーシス」という現象は積極的に引き起こされるプログラミングされた細胞死ですが、それは個体をより良い状態に保つために起こります。

引続き会長を拝命することとなりますが、任期中にプログラミングするひとつである「次世代による当会の運営を担える後進の育成」を積極的に果たして繋げたいと思います。

さて、医学・医療分野の急速な進歩とともに、液状化検体細胞診(LBC)、セルブロック、がん遺伝子パネル検査さらには子宮頸がん検診にHPV検査単独法の導入など細胞診領域でも大きな潮流がきております。この異次元の変化には目先の対応だけではなく、先見性を持った対応が求められます。

そのため技師の資質向上や地位向上に向けて努力を重ねるとともに、次に掲げる項目を重点課題として取り組みます。

① 将来を見据えた細胞検査士会の体制創り

② IT技術を活用した事業

・有益な研修会や研究発表会などの学術活動および人材育成

・一般の方および会員に向けての情報発信

③ 近隣の細胞検査士会との情報交換による相互連携

④ 兵庫県臨床細胞学会、兵庫県臨床検査技師会、医療職団体などの他団体との交流推進と相互協力

兵庫県では若い有能な細胞検査士が育ちつつあります。

将来の細胞検査士の姿を見据え、これからの細胞検査士会を創りながら、会員の皆様と共に歩んでいきたいと考えています。

2025年度には、第50回日本臨床細胞学会 近畿連合会が兵庫県担当で開催されます。

役員(理事)および地区委員はもちろん、会員の皆様のご支援ご協力がなくては成り立ちません。

『In bocca al lupo !』の精神で、精進してまいりますので、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

3) 令和6・7年度 兵庫県細胞検査士会 役員(幹事)の紹介ならびにご挨拶

今川 奈央子(神戸大学医学部附属病院)

この度、兵庫県細胞検査士会の役員(幹事)に就任いたしました、神戸大学医学部附属病院病理部の今川奈央子と申します。

細胞検査士を取得後、総会への参加はもちろん、検査士会主催の研修会などへの参加を積極的に行って来ました。

どの研修会も大変有意義であり、運営委員の皆様への尊敬の念が堪えませんでした。

まだまだ未熟ではありますが、今後は私自身も運営委員の一人として、兵庫県下の細胞検査士の皆様にとって役に立てるよう、諸先輩方に習い、自身のこれまでの経験を活かし、精一杯役割を全うしたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

上岡 英樹(JCHO神戸中央病院)

この度兵庫県細胞検査士会役員(幹事)を拝命いたしました上岡です。

さらに前回から副会長も拝命しております。どうぞよろしくお願いいたします。

長く学会運営に携わって来たこともあり、会としての土台を守りつつその都度新たなものを受け入れるという柔軟な体制も意識して、会長を補佐して取り組んでゆきたいと思っています。

あまりたくさんとはいえませんが、長くいることの功を生かせればと思っています。

太田 寛子(宝塚市立病院)

今年度より役員(幹事)を務めさせていただきます、宝塚市立病院の太田寛子です。

昨年度までは阪神地区の地区委員としてお世話になっておりました。

地区委員で経験させていただいたことを活かし、地区委員と役員との橋渡し役ができればと思っています。

会員の皆さまにとってのよりよい研修会とは何かを考えながら、新体制となった地区委員や役員の方々と協力し合って、今後の研修会運営に取り組んで参ります。新しいことなども取り入れていきながら、よりよい研修会を開催できればと思っています。皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

川嶋 雅也((株)兵庫県臨床検査研究所)

2005年より役員(幹事)を拝命し、長きに渡り兵庫県細胞検査士会の活動に参加させて頂きました。

過去の経験を活かし、出来る限り次の世代へのバトンを繋げるように、今期も職務を果たしたいと考えております。

細胞検査士育成に置いては、当検査室の症例を教材とした標本を準備し、毎年数名の実習生を受け入れております。今後も教育活動を続けていきたいと考えております。宜しくお願い致します。

川村 道広(近畿中央病院)

引き続き、兵庫県細胞検査士会の役員(幹事)を務めさせていただきます。

役職に付いたり合併を控えたりと動きが鈍くなっておりますが、兵庫県細胞検査士会の発展に微力ながら貢献できればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

真田 浩一(兵庫県立尼崎総合医療センター)

「役員(幹事)として、組織の成長に貢献したいと考えております。

過去の経験や知識を活かし、チームワークを大事にし、円滑なコミュニケーションを心掛けます。

メンバー一人ひとりの意見を尊重し、共に目標に向かって努力します。

また、組織の課題に対しては柔軟に対応し、解決策を見つける努力を惜しまない覚悟があります。

「常にリーダーシップを発揮し、組織全体がより良い方向に向かうよう導くことを使命と考えております。」

↑ chatGPTで作成しました。みんなで楽しみながら色々な事にチャレンジしましょう！

塚本 龍子(神戸大学医学部附属病院)

現在、神戸大学医学部附属病院病理部に勤務しております塚本龍子です。
前期に引き続き、兵庫県細胞検査士会の役員(幹事)を務めさせていただきます。
どうぞ、よろしくお願い申し上げます。
兵庫県では細胞検査士の養成に力を注いできた長い歴史があり
今日、細胞検査士の自身があるのも、諸先輩方のお陰と感謝の想いで一杯であります。この御恩に報いるべく、鳥居良貴会長のもと理事としての使命を自覚し、微力ではございますが兵庫県の細胞診断の発展と向上のために努めて参る所存です。

中村 純子(兵庫医科大学病院)

前期に引き続き、2024年度・2025年度兵庫県細胞検査士会の役員(幹事)を務めさせていただくことになりました、兵庫医科大学病院の中村純子と申します。
上岡副会長とともに会計を担当させていただきます。
会員の皆様から頂戴しております年会費の管理、予算書や決算書の作成、また合同開催することの多い兵庫県臨床細胞学会との経費の調整が主な業務となっております。
コロナ禍で研修会等の形式も変化し、規制が緩和された後も引き続きZOOM契約等新たに必要となっている経費もあります。
会場で顔を合わせた交流が一番いいのですが、兵庫県は東西約111km、南北約168kmと東西南北ともに広い県であり、地域格差が少なくなるようにどこからでも参加できるような運営に協力できるよう微力ながら尽力して取り組む所存ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。

新田 篤史(兵庫県立淡路医療センター)

役員(幹事)に就任させていただきました県立淡路医療センターの新田と申します。
浅学非才ではございますが、得意とするIT領域を細胞検査に少しでも応用できるように、微力ではございますが、全力を尽くしたいと考えておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。
私事ではございますが、LINEのアイコンはワオキツネザルです。
頻繁に鳴くわけではありませんが、猫の様な鳴き声です。見えない仲間を呼んだり、コミュニケーションを取る際に声を発します。
会員の皆様と協調性を保つため、小さいながらも声をあげていけるようにしたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

樋口 観世子(医療法人神甲会 隈病院)

隈病院の病理診断科に所属しています樋口観世子です。
“甲状腺”を専門とする隈病院に就職してから20年、毎日毎日、“甲状腺”とばかり触れ合ってきました。その他の分野にはめっぽう疎い私が、この度、新役員(幹事)に就任させていただく事になりました。初めての経験であり微力ですが、兵庫県細胞検査士会会員皆様のために、与えられた責任をしっかりと果たせるよう精一杯精進してまいります。
今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

堀越 裕子(兵庫県立丹波医療センター)

この度は役員(幹事)にご選出いただき誠に光栄に存じます。
私はこれまで病理検査を担当してきましたが、その途中で生理検査を兼務していた事があり、超音波検査士の資格を取得しました。
病理とは違った目線で検査をする事は私にとって貴重な経験でした。現在は超音波検査をする機会は少なくなり、検体・細菌・病理検査担当の副技師長として勤務しています。
趣味は、特にこれといった物は無いですが、休日に料理やお菓子作りをするのが楽しみです。
微力ではございますが、出来ることを精一杯させていただきたいと思っております。
今後とも、よろしくお願い致します。

松木 慎一郎(兵庫県立西宮病院)

数年前から兵庫県細胞検査士会の役員(幹事)を務めさせていただいております。

最初の頃は先輩方にただついていっているだけでしたが、様々な活動や研修会の運営等に関わらせていただき、会員の皆様のお役に立てるようになってきたかなと、最近になってようやく少し思えるようになってきました。

新しい方々にも幹事に加わっていただきますので、皆さんと協力してより良い会にしていけるよう努めていきたいと思います。

前後しますが、(どうでもええ情報というのは承知の上で)自己紹介として好きなものを並べます。
トンカツ、スイカ、フライドポテト、コーラ(コカが一番)、ONE PIECE、ドラクエ、ミスチル、巨人(軍)・・・
我ながら結構ベタ。

こんな私ですが、なにとぞよろしくお願いいたします。

圓井 知江(誠仁会 大久保病院)

最近では細胞検査士という仕事は顕微鏡で鏡検するだけではなく、液状検体での検査や遺伝子検査、またそれを行う設備や技術も必要になってきています。

私が勤めているような規模の病院ではなかなかすぐに対応していく事は難しく、遅れているなと焦りを感じています。

この度役員(幹事)を務めさせて頂くにあたり、自分を含めてそういった状況の方々への研修会のサポートや情報提供、またこれから細胞検査士を目指す方への支援に力を入れて取り組んでいきたいと思います。

自分に出来る事は本当に微力ですが、2年間出来る範囲で精いっぱい務めさせて頂きます。
よろしくお願いいたします。

山尾 直輝(神甲会 隈病院)

兵庫県細胞検査士会の総会で役員(幹事)の承認を頂きました山尾直輝です。

勤務先は甲状腺でお馴染みの隈病院に勤務しております。

理事として自分に何が出来るかと考えましたところ、人と人を繋ぐことに重点を置いて活動したいと考えました。

と言いますのも、兵庫県は地理的にも広く検査士の交流が難しいと考えたからです。

ベテランの諸先輩方から初学者まで多くの検査士が学術的なことをはじめ、いろんな意見を出し合える「水魚の交わり」となる様に心がけたいと思います。

大きな事を書きましたが、趣味は、釣り、ハイキング、ゲーム(特にロールプレイング)です。
学術以外でもいろんな意見交換ができればと考えております。よろしくお願いいたします。

山下 展弘(神戸市立医療センター西市民病院)

2020年より学術担当させていただいております神戸市立医療センター西市民病院の山下です。

「ABCDプロジェクト」に始まり、研修会、総会でのスライドカンファレンスを中心に活動してまいりました。
また、昨年はヴァーチャルスライドを取り入れ、カンファ中に回答の集計を表示する試みを行いました。

今年度も試行錯誤を繰り返し、興味をひくカンファレンスをやっていきたくと考えていますので
皆さん参加およびご協力どうぞよろしくお願いいたします。



2. 地区委員のコラム

今年からやってみたいこと

兵庫県立尼崎総合医療センター 岡田 麻由奈

私の地元は漁師町で、父も漁師です。

実家の晩ご飯には必ず煮魚が出て、その日に獲った魚があればお刺身が出ます。

他にもいろいろな魚料理が出てきますが、魚の種類や大きさ、季節によってどのように調理すれば一番美味しいのか異なり、それらを家族と相談しながら行うのはすべて母です。

私はというともっぱら食べる専門で、生魚のにおいが苦手なので普段は近づくことも触ることもありません。

そんな私が今年からやってみたいことは、母から魚料理を学ぶことです。

先日実家に帰った際、私が帰っていると聞いた叔父がカワハギをくれたので、皮を剥ぐことに挑戦しました。

意外と難しいもので、そんなに力はいらないですが、いかんせん触るのが気持ち悪いので思いっきり引っ張ることができません。

もたもたしている私を見ているかのようなカワハギの眼がとても気まずいです。

結局1匹でギブアップし、母に交代したら残りの数匹はあっという間に終わりました。

その後、母から指示をもらいながら煮つけにしました。

年齢を重ねるごとに、両親から色々と教えてもらう時間が楽しいと思うようになりました。

ちょっと(結構?)迷惑そうにしている母にお願いして、少しずつ学びたいと思います。

最後まで読んでいただきありがとうございました。



写真はカワハギ、メバル、アカニシガイ、オコゼ。
カワハギのお造りやオコゼの味噌汁はとても
美味しいです。

3. せるツイート



～様々な角度から見てみよう～

「せるツイート」では、基本症例から難解症例、背景の物質や、油浸でみる細胞など様々な細胞像をゆる～いノリで出題または紹介いたします。

色んな角度から見た細胞像を気軽に共有しませんか？

もしかしたら、新たな発見があるかも！？

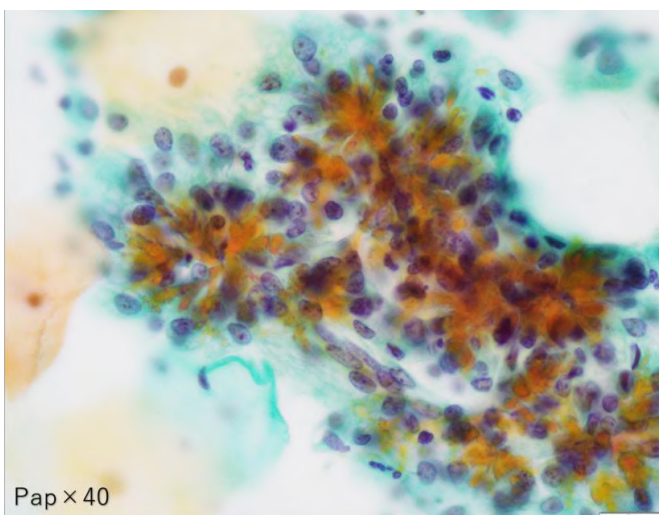
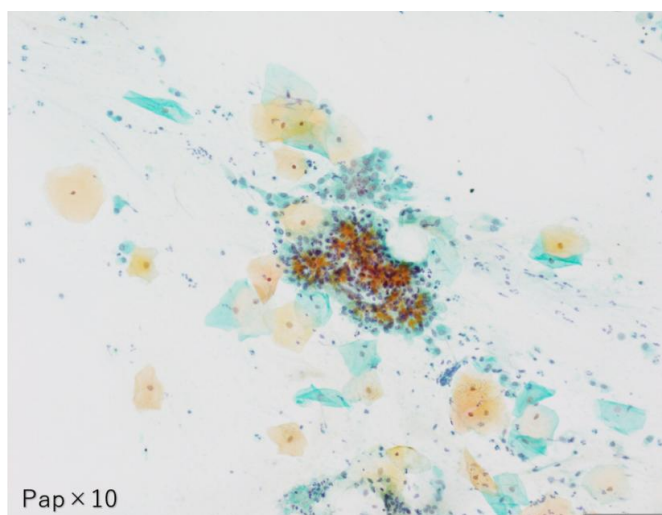
気になる細胞を「クイズ形式」や時には逆に教えてくださいと、「なげかけ形式」で紹介したいと思います。

※奇数月は問題、偶数月は回答やご意見を掲載いたします。

症例15はこちら↓

これは何でしょうか？

＜ 症例15＞ 年齢 : 50 歳代
性別 : 女性
検体 : 子宮頸部



5. 編集後記

ジャーナル担当: 岡田、片山、上山、坂本、濱武、山口

今年度入って、はや1ヶ月が経ちました。

夏日のように暑い日もあれば、肌寒い日もあり、着る服に悩む毎日です。

今年のゴールデンウィークは4連休ありました。

皆様はいかがお過ごしでしたでしょうか？

ちなみに次の国民の祝日は7月の海の日までありません…。

6月にも何かお休み欲しいですね(小声)



※兵庫県細胞検査士会では、

メーリングリストへの登録をお願いしています！

兵庫県細胞検査士会メーリングリストでは、メールジャーナルを初め、勉強会等、様々な情報を配信しています。

ご職場やお知り合いの方などで、登録が未だの方がいらっしゃれば、ぜひこの機会にお勧め下さい！
皆様のご協力をお願いいたします。

メーリングリストへのご登録、変更および登録解除はこちらから↓
兵庫県細胞検査士会 メーリングリスト

<https://hyogoct.com/con/index.php/hui-yuan-xiang-ke/ml-info>

兵庫県細胞検査士会へのお問い合わせはこちらから↓

<https://hyogoct.com/con/index.php/office>

兵庫県細胞検査士会ホームページ↓

<https://hyogoct.com/con/index.php>

